

<北海道熊研究会報>

第 29 号 2014 年 5 月 13 日

ご意見ご連絡は下記へどうぞ

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭 e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association

Website は「北海道野生動物研究所」と入力して下さい

2013 年 11 月 5 日、UHB 大学主催で、「熊とは、そして、札幌の市街地に熊が出て来る本当の理由」と言う題で、門崎允昭が約 80 分間、道新ホールで 500 名程の聴衆に講演をした際の全文の、今回はその 8 回目として、会報 28 号に続き掲載致します。お読み下されば幸甚です。

[28] 道や札幌市の 熊についての市民向けの啓発パンフ、これも彼らが書いたものですが、熊の視力について、熊は聞く力(聴力)は鋭敏だが、視力は良くないとかいている。しかし私の観察では熊の視力は非常によく、一瞬の目配りだけで、人を識別しその人間を記憶する能力をもっているし(このことは、熊を目撃観察していると判る)、月が出ていない闇夜でも、水中の鮭鱒を岸边から飛び込んで掴み取る視力があります。皆さんの中にも経験された方がいると思いますが、熊牧場で熊にビスケット等餌を投げ当えると、それが 10 数メートル離れて居ても、口や手で掴み取ることで分かります。

[29] 彼らはまた熊対策として、唐辛子を主成分とする「熊除けガススプレー」を推奨していますが、これは、元々アメリカで、犯罪者対策で開発された物です。これは瞬時に襲い来る熊には通用しないし、風上に居る熊にも通用しない。しかも熊に 3 m 以内に接近して噴射しないと効果がない。また、人が、このガスを、少しでも吸ったら、呼吸ができなくなる。肌にガスが僅か付着しただけで、皮膚が炎症を起こし、我慢できないうえ、目に入ったら、目を開けていられない、そう言う、しろものである。と言うこと。それを承知で、使うなら別ですが、私は、この「熊除けガススプレー」は推奨しません。

[30] 熊に対して一般人は、どう対応すべきかを、私が実際に行っている事をお話しします。先ず、北海道で、山菜採りし得る場所は、熊と遭遇する可能性があることを認識し、その準備をして入るべきです。

準備として、ホイッスルと鉈を携帯すること。

そして、現場に入った場合は、熊が居ないか、辺り全体をよく見ながら進むこと。私は時々立ち止まって、そこから見渡せる範囲の山林や藪や両側の斜面を見、熊の有無や熊の痕跡の有無を探ります。

[31] 万が一、熊を見つけた場合は、熊が何をしているか見、私の方によって来そうな場合は、穏やかな声で、ホッホッホッと声を掛ける。これで、多くの熊は声の主を見て、やおら、立ち去る。先日も知床で、私に気づかずに近づいて来る大きな熊と 20m 程の距離で出会い、ホッホッホッと声を掛けたら、その熊は終始穏やかな目（目付きが変わらない目）で、私を見て、やおら草付きの崖を 10m 程登り、私の後に下りて、ゆっくり立ち去って行きました。成獣の熊は大体、このような対応を人にします。

[32] 時に、熊は立ち上がって、人の方を見ることがあるが、これは、熊が立ち上がることで、熊は視線を高くして、辺りを見やるために行う動作で、威嚇ではありません。また、なかなか、熊が立ち去らない場合は、少し大声でホッホッホッと声を掛け、熊を動きを見ながら熊から離れる事にしています。

[33]もし、熊が近づいて来たら、ドスの利いた声で、熊を叱りつけることにしています。人が強いことを、熊に識らせること（これが最も肝心な事です）。知床の奥に 19 号番屋と言う漁師の拠点があり、10 数人の漁師が、5 月から 11 月末迄の間常住しており、そこは北海道で一番多く熊が出て来る場所で、私もこの 10 月から熊の調査で、この場所に行っているのですが、ここの 77 歳の大瀬さんと言う親方(社長)は、昭和 39 年から 50 年間ここに、日々いて、日本で最も多くの熊に遭遇している人ですが、大瀬さんが言うには、熊が近づいて来た場合には、熊の目を睨みながら、ドスをきかせた声で、「コラッ」と、言えば、必ず熊は立ち去る。なかなか、立ち去らない場合でも、幾度か「コラッ」「コラッ」と言えば、立ち去るもので、これまで何十頭もの熊を追い返したと言う事です。私は熊の目は見ますが、睨み続けることはせず、**目の表情から、熊の心を見やることにしています。**熊は目で、いろいろな気持ちを語っています。

しかし、私は熊に掛かれたら、ひるまず鉈で応戦することを、常に頭に置いて行動しています。

[34] それでは、札幌の市街地に熊が出て来る本当の理由についてお話しします

まず、熊から見た札幌圏の自然について話しますと、

[35] 札幌圏では、札幌市の西部には山が連なって見えますが、あの山地は標高が 100 m 台から 1,500 m 弱の山が連なっていて、その殆ど全域が樹林地になつていて、その樹林地の幅はどのくらいあるかというと、樹林地の東端は市街地に接するいわゆる円山(225m)や藻岩山(536.8m)の東端で、そこから西へ向かって 36km から 40km の幅ですと樹林地が続いている。そして、その樹林地の西側の大部分が熊の生息地(熊が長期に利用している地所)になっていて、その反対側の東側は大部分が熊の出没地(熊が時に利用する地所)になっていて、円山や藻岩山の樹林地帯も出没地です。札幌市の西部地域の環境を熊との関係で言うと、そういう地理的環境です。

(了)